

2026-4
No.31

LITECH MAGAZINE

TOSHIBA

Lighting Scene

特集 教育施設の照明

調理室
理科室
技術室
2F

CONTENTS

■ 巻頭インタビュー

2 福井市九頭竜中学校の建築と照明

株式会社木下設計
代表取締役社長
木下 貴之 様

株式会社木下設計
設計部課長
片山 雅哉 様

5 福井市九頭竜中学校

特集 教育施設の照明

■ 施設例

6 宮城大学 大和キャンパス アリーナ・講堂

8 宮城大学 大和キャンパス グラウンド等

■ ラइटニングシーン施設例

10 福岡中央病院

12 S-GATE博多駅東

14 大阪府庁舎 本館 ライトアップ

巻頭インタビュー

福井市九頭竜中学校の建築と照明

福井市は市北部森田地区の人口増加にともない、学校規模の適正化を図るために、令和8年4月に新たに九頭竜中学校を開校します。市内最大規模となる中学校の建築と照明について、株式会社木下設計の木下 貴之様と片山 雅哉様にお話を伺いました。



株式会社木下設計
代表取締役社長 木下 貴之 様



株式会社木下設計
設計部課長 片山 雅哉 様



特別支援室 TENQOOシリーズのスクールソフト①と黒板灯②で快適な照明環境を創出

「学び」「生活」「共創」「安全」「環境」をコンセプトとした将来の教育を見据えた学校づくり。

—はじめに九頭竜中学校の新設の背景からお聞かせください。

木下 福井市北部の森田地区では、土地区画整理事業の進展に伴い、公共施設や公園などの整備が進められ、住環境が大きく向上しました。その結果、地区内の森田小学校の児童数は1,100人を超える規模へと増加していました。こうした状況を踏まえ、地域全体でより良い教育環境を確保するため、既存の森田中学校校舎を小学校へ改修し、小学校を2校化する再編が進められました。また、これまで九頭竜川を渡って灯明寺中学校へ通学していた河合小学校の児童についても、校区を統合し、九頭竜川以北の子どもたちが通学できる新たな中学校の建設が計画されました。これらの取り組みにより、福井市内でも最大規模となる新たな中学校とし

て九頭竜中学校が誕生することとなりました。—プロポーザルに際してどのような提案をされましたか。

片山 「福井市北部地域学校規模適正化基本計画」のもと、設計においては「学び」「生活」「共創」「安全」「環境」というコンセプトに基づき、将来の教育を見据えた施設を建設し特色ある学校づくりに向けたプロポーザルが実施されました。

それに対して私たちは「学び」については、各階に設けたメディアセンターの「学びの森」を普通教室と一体的に活用し学年や教室を超えた多様な学びを育む場として提案しました。「生活」においては、たとえば滞在時間の長い普通教室は南側に配置し、採光・通風に優れた学習環境を確保しています。吹き抜けやテラス、中庭を設けたゆとりある空間も特徴です。「共創」については、地域の方が気軽に利用できるように体育館に隣接して地域玄関や地域連携室を設けて



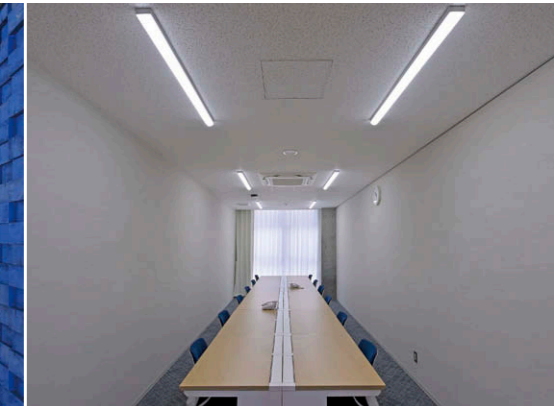
1Fメディアセンター 「森のなかにいるような光環境」を演出する木の内装とLEDユニット交換形ダウンライト⑥



3Fメディアセンターから教室を望む



1F玄関 LED一体形ダウンライト⑦による照明



3Fサブ職員室 TENQOOシリーズ直付形⑧による照明

多様な使い方ができるようにしています。

木下 「安全」においては日常から災害時まで命を守る学校として職員室やサブ職員室を効果的に配置して校内全体を見守りやすくしました。また利用者に応じて段階的に管理できるセキュリティラインを整え、地域開放と生徒の安全を両立しています。「持続可能性」ではパッシブデザインを積極的に取り入れ、ZEB Readyを達成する省エネルギーな学校としています。

生徒を主役に公共建築にふさわしい質実なデザインを追求。

—校舎の外観がとても印象的ですが、設計意図をご紹介します。

片山 地域の風景に調和して生徒や地域の方に圧迫感を与えない佇まいを目指しました。建物ボリュームを適切に分節、分割し空へと段階的に開かれたセットバック構成を採用することで分棟型のようなスケール感を生み出し、軽や

かで親しみのある建築を実現しています。東口に設けた昇降口は生徒を迎え入れる「門」として象徴的な意味を持たせ、ゲートのような意匠にしました。「迎え入れる」という原初的な行為を建築に落とし込むことで生徒、教職員、地域の方々との新たな関係性を築く場となることを願っています。

—そのほか意匠面で配慮された点がありましたらお聞かせください。

木下 あくまで主役は生徒であり、建築はその日常を支える背景として静かに佇み存在ですから、過度な装飾は避け公共建築としてふさわしい質実なデザインを追求しました。市民の大切な税金によって整備される施設として節度と誠実さをもった建築を目指しています。

—学校づくりにおいて地元の子どものアイディアも反映されているそうですね。

片山 ええ、昇降口を入るとすぐに生徒たちが自ら塗装に参加して完成させた総合案内が迎

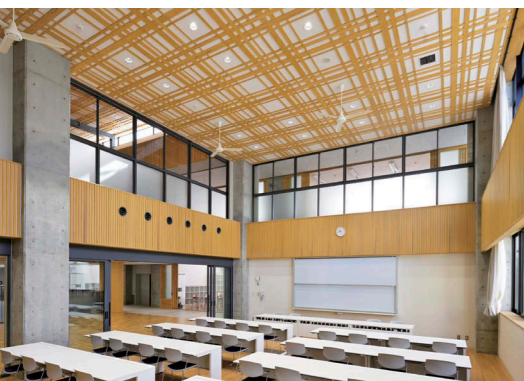
えてくれます。楽しそうに声を掛け合い、協力しながらつくり上げたこの案内サインは、学校は生徒が主役という考え方の象徴です。この学校は、与えられた場所ではなく、生徒自身が関り、手を動かしながらつくってきた学校です。

—先ほどお話に出たZEB Ready達成のための具体的な対策についてご紹介ください。

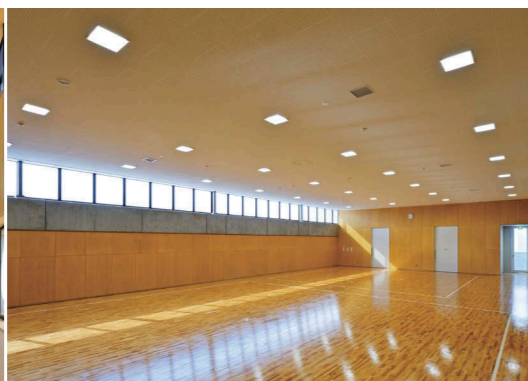
木下 教育施設では建築計画と設備計画を一体的に検討して、効率的かつ現実的な省エネルギー化を進めることでZEB Readyの達成を目指します。たとえば高効率な空調、換気設備を導入し教室や共用部の使用状況に応じた適切な運転を行います。屋根、外壁、開口部の断熱性能を高めて外気の影響を抑えることで空調負荷を低減することもその一つです。先ほど申し上げた、建物の配置や方位計画を工夫して自然採光や自然通風を最大限活かすといったパッシブデザインの活用も省エネに貢献しています。そして自然光を採り入れるとともにLED



1F 大階段 生徒同士の出会いや憩いの場、発表の場として利用される多目的な空間に採用したLEDユニット交換形ダウンライト⑥



2F メディアセンター(PC室) 天井高約6mののびやかな空間



2F 武道場 LEDベースライトスクエアタイプ④による照明



3F 普通教室 グレアを抑え室内をムラなく照らすTENQOOシリーズのスクールソフト①と黒板灯②

照明器具を全面的に採用し照明エネルギーを削減します。さらに階段や一部の廊下、トイレや更衣室などは人感センサーによる制御でエネルギー消費を抑えています。

照明設計のコンセプトは「森のなかにいるような光環境」。

—照明設計における基本的な考え方はどのようなものでしょうか。

片山 本校は面積条件の制約から中廊下型の計画となり、どのように十分な採光を取り入れるかという課題がありました。照明計画においては単に明るさを確保するだけでなく、自然光に近い、柔らかく落ち着いた光環境をつくることを基本方針にしています。照明設計のコンセプトは「まるで森のなかにいるかのような光環

境」です。照明器具が主張し過ぎず、木材や内装になじみ、空間全体を包み込むような光の広がり大切にしています。

木下 教育施設であり、雨や雪の多い福井という地域特性から、屋内で過ごす時間が長くなることをふまえ、室内にいながら自然を感じられる空間を目指しています。コスト面にも配慮しながら色温度や配光、グレア抑制に留意し心地よい照明器具を選定しています。

穏やかで安心感がある居場所性に優れた照明環境を創出。

—木質感あふれる各階のメディアセンター、「学びの森」の柔らかくかつ開放感に満ちた空間がとても魅力的ですね。

木下 「学びの森」は生徒が自然と集い屋外の

森に包まれているようなスケール感を意識し、天井は森の枝や葉をメタファーとした格子状の構成として、その隙間から木漏れ日が差し込むような空間をイメージしています。照明器具は木材や仕上げと調和する温かさを感じられるものとして、LEDユニット交換形ダウンライトのグレアレスタイプを採用しています。2階のメディアセンターにはPC室がありますが、ここは木のルーバーのデザインに合わせて、ルーバーの隙間から照明が入るように机とともに器具の位置を調整しました。色温度に関しては教育施設であることをふまえて全体的に昼白色を基本としています。

片山 大階段も同様で、単なる動線ではなく生徒同士の出会いや憩い、発表の場としても使われる多目的な空間であり、日常的な利用からイ

令和8年4月に開校する九頭竜中学校は教育目標として「地域とともに誇れる未来を創造する生徒の育成」を掲げ、学校像として「伝統を創造し、将来にわたって地域のシンボルとなる誇り高き学校」を目指しています。開校時は現在の森田中学校と灯明寺中学校の一部の生徒合わせて約550人が通う予定で、将来的には700人規模の県内でも有数のマンモス校になることが想定されております。



【物件概要】
所在地：福井県福井市八重巻町第4号33番地1
敷地面積：38,253㎡
延床面積：10,063㎡
規模構造：校舎／鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 3階建 7,834㎡
体育館棟／鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 2階建 2,229㎡
施主：福井市
設計：株式会社木下設計
施工：株式会社伊藤電機・株式会社豊島電工 特定建設工事共同企業体
竣工：2026年3月



体育館 LED高天井器具⑧を採用

イベント時まで対応できるように木材の温かさを感じられる照明演出を図っています。また各階の廊下も同じ照明器具を採用していますが、廊下も単なる通路ではなく「学びの森へ」連続する空間として捉えているためです。ちょっとした会話自然と生まれるような、居場所性のある場になるように考慮しています。

—教室についてはいかがですか。

木下 普通教室、特別教室は生徒が長時間滞在する空間であるため、落ち着いて学びに集中できることを重視しました。室内をムラなく照射してグレアがない学習環境をつくるために、LEDベースライトTENQOOシリーズからスクールソフトと黒板灯を全面的に採用しました。過度な演出を避け、木材や仕上げの質感が生きる穏やかで安心感ある空間で学んでもらえると思



1F 職員室 TENQOOシリーズ40タイプ直付形⑤を採用



1F 校長室 LEDベースライトスクエアタイプ④を採用

います。—体育館も生徒はもちろん地域の利用が多い施設です。

片山 はい、体育館は日常の授業から行事、地域利用まで多様な使われ方を想定した大空間で、可動式のステージを採用しているのもそのためです。照明は建築物への負荷が少ない軽量、高効率のLED高天井器具を採用し、機能性を確保しつつ学校全体のコンセプトと調和するような空間づくりを意識しました。

メディアセンターを軸に、生徒が夢や目標をもち、努力していく場になるように。

—新しく開校する九頭竜中学校が生徒にとってどのような学びの場、成長の場になることを期

待されますか。

木下 この学校では生徒たちが日常のなかで自然と人や本、情報と出会うようにすることを重視しました。メディアセンターを中央に配置して、語り合う、学び合う、調べる、本を読むといったことが日常の一部になる。家に帰らなくてもここで友だちとワイワイ過ごせる。そこから自分のやりたいことや夢に気づいて努力していく。そんな循環が静かに芽生えていくことを願っています。また地域連携については変化し続ける時代のなかで、ワークショップや体験学習をはじめ幅広くしなやかに利用され、長く愛されていくことを期待します。

—本日はお忙しいなか、貴重なお話をお聞かせいただきありがとうございました。

(2026年2月18日取材)

| 主な掲載器具一覧 | 設置場所 | 器具名 (品名) | 形名 | 台数 | 備考 |
|----------|------|-----------------------------|-------------------|-----|-------------|
| 校内 | ① | LEDベースライトTENQOOシリーズスクールソフト | LEKT420523N-LS9 | 473 | 消費電力：32.5W |
| | ② | LEDベースライトTENQOOシリーズ 黒板灯 | LEKR414323N-LS9 | 105 | 消費電力：19.5W |
| | ③ | LEDベースライトTENQOOシリーズ40タイプ直付形 | LEKT407523N-LS9 | 100 | 消費電力：32.5W |
| | ④ | LEDベースライト一体形スクエア埋込形□350タイプ | LEKR35S451N-LD9 | 48 | 消費電力：31.9W |
| | ⑤ | LEDベースライト一体形スクエア埋込形□600タイプ | LEKR60S651N-LD9 | 19 | 消費電力：41.5W |
| | ⑥ | LEDユニット交換形ダウンライトグレアレスタイプ | LEKD2533023NV-LS9 | 249 | 消費電力：17.1W |
| | ⑦ | LED一体形ダウンライトグレアレスタイプ | LEKD60353MN2V-LD9 | 24 | 消費電力：45.0W |
| | ⑧ | LED高天井器具 | LEDJ-43006N-LD9 | 24 | 消費電力：228.0W |

仙台市北部の大和町にある、宮城大学大和キャンパスではおよそ1300人の学生が学んでいます。このたび、キャンパス内の主に授業、サークル活動などで利用されているアリーナと講堂の照明をLED器具へリニューアルしました。省エネ、省メンテナンスとともに快適な運動環境、公演環境を実現しました。

宮城大学は1997年の開学以来、実学を尊重し社会環境の変化に迅速に対応できる人材の育成に取り組んでいます。大和キャンパスには看護学群、事業構想学群、大学院があり、自然と共生し地域に開かれた大学としてデザインされ、広い敷地内に本部棟をはじめ交流棟、デザイン研究棟、アリーナなどが整えられています。近隣には県立図書館や産業技術総合センターなどの施設もあり研究に最適な環境です。



【物件概要】
所在地：宮城県黒川郡大和町学苑1番地1
対象物件：アリーナ、講堂
施主：公立大学法人宮城大学
設計：株式会社佐藤総合計画
施工：電気/エヌテック株式会社(アリーナ)
旭日電気工業株式会社(講堂)
リニューアル完成：2025年9月(アリーナ) 2026年2月(講堂)



アリーナの照明 広さ47m×31m、天井高13.6mのアリーナにLED高天井器具①を47台設置し、採光窓にはLEDユニット交換形ダウンライト②を採用

アリーナにハイスペックLED高天井器具を採用、快適な運動環境と省エネ、省メンテを実現。

キャンパス内に設けられているアリーナは、間口47m、奥行31m、天井高13.6mという規模でバスケットボールコートが2面とれ「スポーツ実技」の授業や運動系の各種サークル活動、大学のイベントなどにも活用されています。新たな照明器具として、天井に落下防止ワイヤーを標準装備したLED高天井器具を47台、中2階の通路にはLED一体形ダウンライトを採用。また壁に設けられている採光窓にはLEDユニット交換形ダウンライト(直付シーリング)を設置しました。省エネ性能に加え、長寿命による省メンテナンスでランプ交換等の手間を削減。また高天井

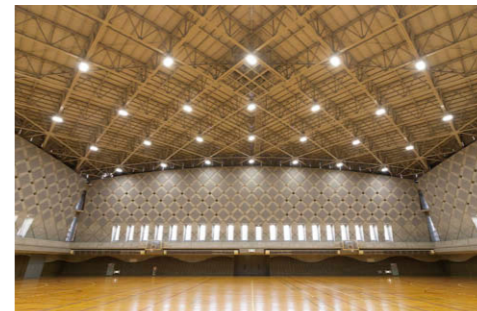
器具はハイスペックタイプで耐震クラスS2、非常時用の100V電源で点灯可能、調光範囲約5%~100%と緊急避難所に求められる機能にも対応しています。

本部棟内にある講堂は、「音楽演習」などの授業や入学式、学位授与式のほか学内サークルの発表会などで活用されています。このたび音響反射板をリニューアルし照明器具にLEDシアターダウンライトを採用。省エネ、省メンテナンスとともに、調光によって色温度が変化する特徴を持ち、公演に応じた照明演出を実現します。



(左) LED高天井器具(落下防止ワイヤー標準装備)
(右) LEDシアターシリーズダウンライト

| 主な掲載器具一覧 | 設置場所 | 器具名(品名) | 形名 | 台数 | 備考 |
|----------|------|-----------------------------|---|----|--------------|
| アリーナ | アリーナ | ① LED高天井器具ハイスペックタイプ | LEDJ-43005N-LD9+LEDX20060G+LEDX-20071GF | 47 | 消費電力: 228.0W |
| | | ② LEDユニット交換形ダウンライト(直付シーリング) | LEKG153421N-LS9 | 44 | 消費電力: 11.1W |
| | | ③ LED一体形ダウンライト6000シリーズクリアレス | LEKD60373N2V-LD9 | 38 | 消費電力: 45.0W |
| 講堂 | 講堂 | ④ LEDシアターシリーズダウンライト | AL-LED-TDL-LS | 26 | 消費電力: 91.5W |



アリーナの照明 1kW形メタルハライドランプ器具相当のLED高天井器具①の照明



中2階の照明 観客席とロッカーのある中2階通路にLED一体形ダウンライト③を採用



音響反射板 LEDシアターシリーズダウンライト④による美しい照明



音響反射板 LEDシアターシリーズダウンライト④による照度を落とした照明

仙台市北部の大和町にある、宮城大学大和キャンパスではおよそ1300人の学生が学んでいます。このたび、キャンパス内の各種照明のLED化への更新の一環として、グラウンドとテニスコート、さらに駐車場、外構の照明をLED器具へリニューアルしました。省エネ、省メンテナンスとともに快適、安全な照明環境を実現しました。

宮城大学は1997年、宮城県初の4年制県立大学として開学以来、実学を尊重し社会環境の変化に迅速に対応できる人材の育成に取り組んでいます。大和キャンパスには看護学群、事業構想学群、大学院があり、自然と共生し地域に開かれた大学としてデザインされています。広い敷地内には本部棟をはじめとする充実した学びの環境のほか、グラウンド、テニスコートのほか駐車場なども整えられています。



【物件概要】
所在地：宮城県黒川郡大和町学苑1番地1
対象物件：グラウンド、テニスコート、駐車場、外構
施主：公立大学法人宮城大学
設計：株式会社佐藤総合計画
施工：電気/旭日電気工業株式会社
(グラウンド、テニスコート、駐車場、外構)
リニューアル完成：2026年2月



グラウンド 1kWメタルハライドランプ器具相当のLED投光器①64台を既設の高さ15mの照明柱8本に8台ずつ設置。(トラック内平均照度470ルクス)

LED投光器でナイターの快適な照明環境を届け、外構や駐車場の照明もLED化で安全性を向上。

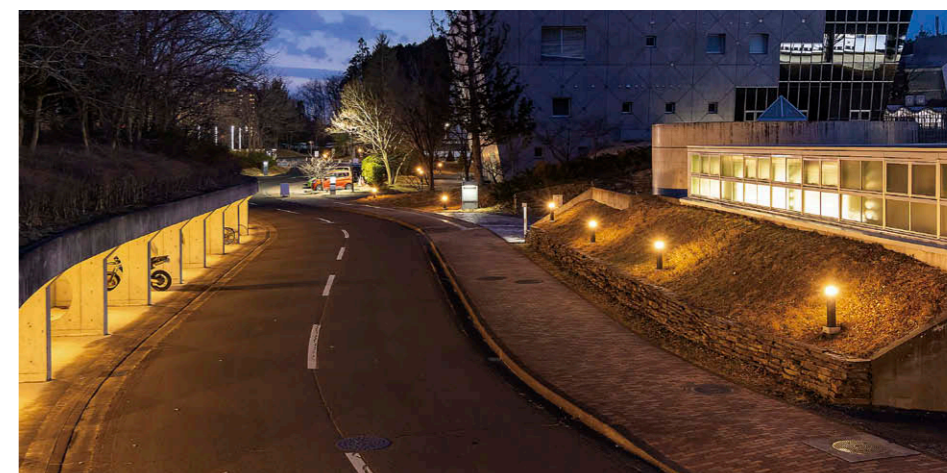
約150m×約83mという広さを有するグラウンドは、主にサッカーサークル、野球サークルの活動に活用されています。グラウンドを挟み向かい合う形で等間隔に立っている既設の照明柱8本に8台ずつ合計64台のLED投光器を設置しました。LED投光器は1kWメタルハライドランプ器具に相当する明るさで、グラウンドいっぱいにくまなく照らします。隣接するテニスコートは2面あり、1面に6台のテニスコート用照明のLED投光器を6.3mの既設の照明柱に設置。専用のアームアダプターで照射角度が調整できます。コートの平均照度は260ルクスの明るさで、グレアを抑える優

れた特徴があります。グラウンド、テニスコートともにナイターのプレーにおいて快適な照明環境を提供します。

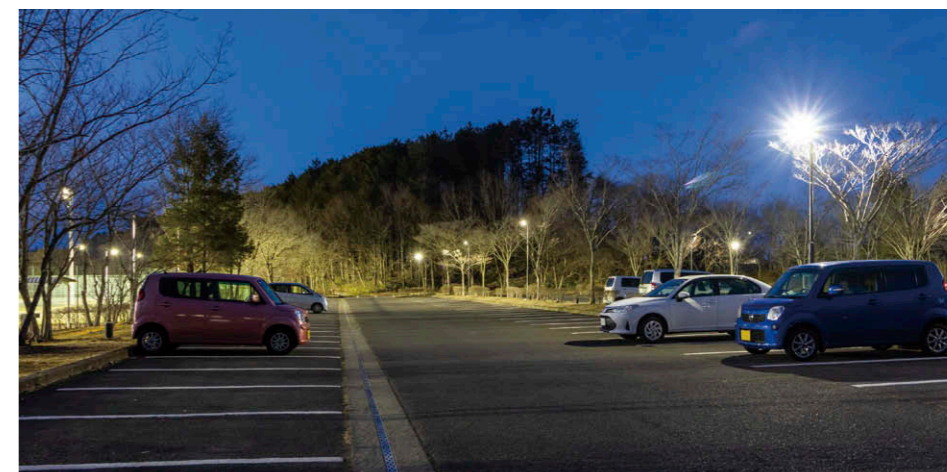
外構は夜間の通行時の視認性確保に重点を置き、歩道沿いの照明器具を中心にLEDガーデンライトへ更新。全周配光タイプで、通路一帯を明るく照らします。駐車場も安全性確保を主眼に従来の庭園灯からLED小形投光器へ更新。十分な明るさとともに保護等級IP65が標準仕様で風や雨等に強い特徴があります。屋外照明設備もLED化したことで、大幅な省エネ、省メンテナンスを実現しました。



テニスコート テニスコート用照明のLED投光器②でグレアの少ない快適な競技環境を実現



外構 視認性確保、安全性確保のため採用されたLEDガーデンライト③



駐車場 駐車場全体に光が届き安全性を高めたLED投光器④⑤の照明



LED投光器 (グラウンド) LED投光器 (テニスコート)

| 主な掲載器具一覧 | | | | |
|----------|---------------------------|------------------|----|-------------|
| 設置場所 | 器具名 (品種名) | 形名 | 台数 | 備考 |
| グラウンド | ① LED投光器 (中角タイプ 重耐塩形) | BVP574_650CW_MK | 64 | 消費電力：367W |
| テニスコート | ② LED投光器 (前方広角配光タイプ 重耐塩形) | BVP433_510CWFWS | 12 | 消費電力：351.4W |
| 外構 | ③ LEDガーデンライト | LEDG-67301 | 42 | 消費電力：5.8W |
| 駐車場 | ④ LED小形投光器 (前方タイプ 重耐塩形) | LEDS-10909NF-LS9 | 10 | 消費電力：71.9W |
| | ⑤ LED小形投光器 (広角タイプ 重耐塩形) | LEDS-06909NW-LS9 | 4 | 消費電力：42.7W |

福岡市中心部の薬院エリアで地域医療を支えてきた福岡中央病院が、建物の老朽化対策と医療機関としてのさまざまな機能強化を目的に、新たな姿に生まれ変わりました。シンプルかつ洗練された印象を与える建築デザインの新棟内では、各種LED照明器具により、来院者が安心できる清潔感と落ち着いた雰囲気演出されています。

福岡市中心部の商業地と住宅街が混在する都心に新築された福岡中央病院は、地上12階建、病床数192床の総合病院です。延べ床面積で旧病院の約2倍と規模を拡大し、診療科目の増設、手術室の拡充、予防医学センターの新設など、医療機能が大きく強化され、個室数も12室から80室へ大幅に増加しました。免震構造を採用した災害対策設計もあいまって、今後も地域医療を支え続ける新拠点として期待されています。



【物件概要】
所在地：福岡市中央区薬院2丁目6番11号
構造・規模：鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造（基礎免震構造）、地上12階建
敷地面積：5,481.2㎡
建築面積：2,279.84㎡
延床面積：22,568.35㎡
設計施工：ピーエス・コンストラクション株式会社
電気工事：株式会社佐電工
竣工：2025年11月

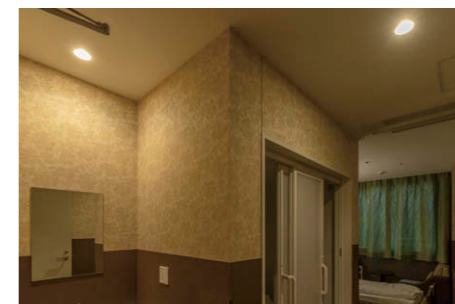


1階エントランスホールの照明 天井折上げ部には4灯または2灯を1組とした白色反射板のLEDダウンライト①を計105台配置
周縁部の下げ天井には黒色反射板のLEDダウンライト②を22台配置

電球色のLEDダウンライトをはじめ各種LED器具が、機能的でありながら安心できる医療環境を創出。

福岡中央病院は、2019年に旧福岡通信病院の医療機能や患者基盤を引き継いで誕生しました。建物は築50年以上が経過して老朽化が進み、また一方で、診療科目の拡充や予防医学センターの設置、最新医療機器の導入など、現代医療ニーズに応じた機能強化が求められる中で新築移転が計画され、2026年1月、南側隣地に新病院として開院しました。
免震構造が採用された高層建築の新病院は、旧建物に比べて延床面積で約2倍のキャパシティを確保。都市的で洗練されたシャープなデザインの外観を持ち、院内各スペースは柱の少ない開放的な印象で、白や淡

いトーンを基調とした床材、壁材に加え、木目調の部材も多用された上品で温かみを感じられる空間となっています。
照明設計では、各スペースのインテリアデザインにフィットしつつ用途に合わせたタイプ・光色のLED器具を採用。エントランスホールや各階待合廊下などには電球色のLEDダウンライトを多数配置し、従来の病院イメージとは異なるホテルライクでリラックスできる空間を創出。また、診療スペースなどには昼白色のLED器具が多用され、清潔感と安心感を与える雰囲気演出されています。



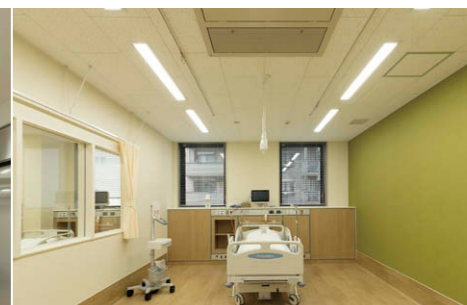
10階入院病棟病室(個室)の照明 3000KのLEDダウンライト①により安らげる空間を創出



10階スタッフステーション付近の照明 入院病棟の廊下にも温かみのあるLEDダウンライト①を採用



4階手術室準備ホールの照明 昼白色のクリーンルーム向けLEDベースライト③を8台配置



4階HCU(高度治療室)個室の照明 明るい6,900lmタイプのLEDベースライト④を採用



6階予防医学センター内待合の照明 リラックスできる雰囲気をLEDダウンライト①で演出



12階リハビリテーション室の照明 高さ3mの天井に47台のLEDスクエア器具⑤を整列配置



3階外来受付付近の照明 電球色の照明器具①が来院者の不安を和らげる温かみのある空間を演出



7階中央ホールの照明 連結タイプのLEDベースライト⑥⑦⑧を4列でライン配置



12階レストランの照明 内装に合わせてLEDダウンライト①②とLEDライン器具⑨を採用

| 主な搭載器具一覧 | | 器具名 (品種名) | 形名 | 台数 | 備考 |
|----------|---|--|---------------------------------|-----|--------------|
| 屋内 | ① | LEDユニット交換形ダウンライト 一般形 白色反射板φ100 広角タイプ 高効率タイプ1500シリーズ | LEKD153023L-LS9 | 766 | 定格消費電力:11.1W |
| | ② | LEDユニット交換形ダウンライト 一般形 黒色反射板φ100 広角タイプ 高効率タイプ1500シリーズ | LEKD153023K-LS9 | 1 | 定格消費電力:11.1W |
| | ③ | LEDベースライトTENQOOシリーズ クリーンルーム向け器具 40タイプ 一般形 埋込形 白色塗装 一般タイプ6,900lmタイプ | LEER-42251C6-LS9+LEEM-40693N-01 | 15 | 定格消費電力:43.0W |
| | ④ | LEDベースライトTENQOOシリーズ 40タイプ 埋込形 システムアップW150 一般タイプ6,900lmタイプ | LEKR416693N-LD9 | 85 | 定格消費電力:43.0W |
| | ⑤ | LEDベースライトTENQOOスクエア パネルタイプ 埋込形 乳白パネル □600 | LEKR760901FN-LD9 | 102 | 定格消費電力:52.0W |
| | ⑥ | LEDベースライトTENQOOシリーズ 40タイプ 連結用 埋込形 下面開放W150 一般タイプ3,200lmタイプ | LEKR415323J1N-LS9(右用) | 12 | 定格消費電力:19.5W |
| | ⑦ | LEDベースライトTENQOOシリーズ 40タイプ 連結用 埋込形 下面開放W150 一般タイプ3,200lmタイプ | LEKR415323J2N-LS9(左用) | 12 | 定格消費電力:19.5W |
| | ⑧ | LEDベースライトTENQOOシリーズ 40タイプ 連結用 埋込形 下面開放W150 一般タイプ3,200lmタイプ | LEKR415323J3N-LS9(中間用) | 40 | 定格消費電力:19.5W |
| | ⑨ | LED屋内用ライン器具 全長1,223mm | LEDL-12501L-LD9 | 42 | 定格消費電力:28.5W |

株式会社サンケイビルが“「ひと」をオフィスの真ん中へ。”をコンセプトに展開するハイグレードミッドサイズオフィス S-GATEが、2026年1月、福岡市中心部の博多駅東に誕生しました。働く人の視点でつくられた高水準の機能性と快適性を備えたビジネス環境が提供され、その創出にさまざまなLED照明器具も役立てられています。

九州の玄関口、博多駅の筑紫口側に広がるビジネス街に誕生したS-GATE博多駅東は、次代のビジネスを担う働く人の視点で設計されたミッドサイズオフィスビル。スタイリッシュかつ重厚なグリッドデザインが特徴的なファザード、天井高2,700mmの整形無柱空間のオフィスフロア、BCP対応、ZEB Ready認証取得など、中規模でありながら大規模オフィス並みのハイスペックを実現。快適性と安全性を両立したビジネス環境を提供しています。



【物件概要】
所在地：福岡市博多区博多駅東3丁目1-21
構造・規模：鉄骨造、地上8階建（一部CFT柱）
敷地面積：1,008.89㎡
延床面積：6,698.81㎡
施工：株式会社サンケイビル
竣工：2026年1月



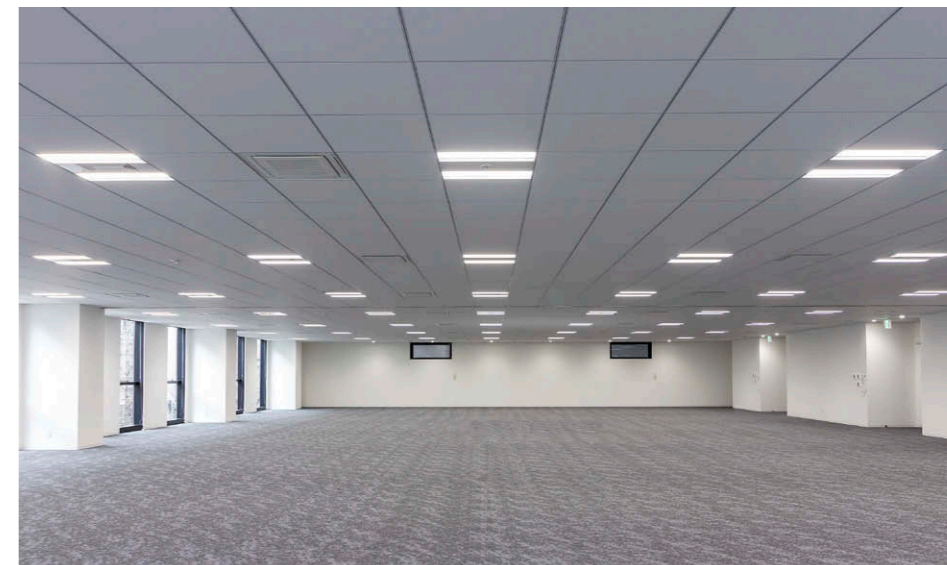
1階エントランスホールの照明 左側の光壁は中央部まで明るさが届くように集光タイプのLEDベースライト①を採用して上下に6台ずつ配置 吹き抜け天井に1,910lmのLEDダウンライト②を2灯1組計18台配置 右側スリット部には1,160lmのLEDダウンライト③を採用

高いデザイン性と快適性、機能性を備えた各スペースに、それぞれに適したLED照明器具を採用。

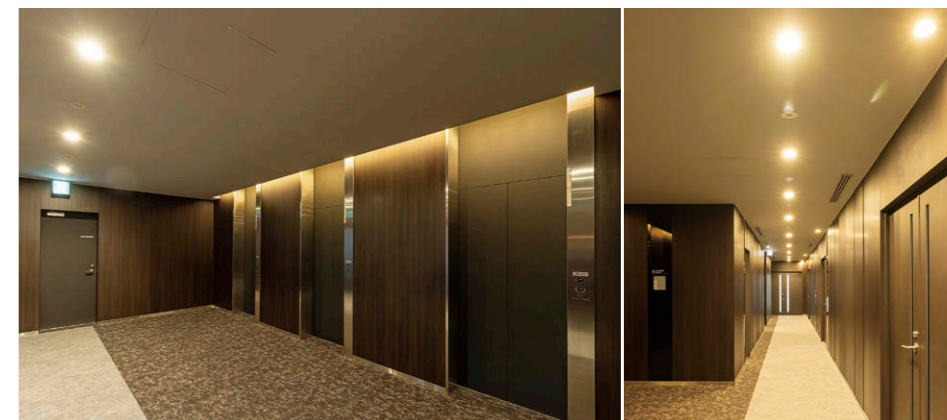
S-GATE博多駅東は鉄骨造8階建てで、1階は商業施設と駐車場、2～8階がテナントオフィスで構成された総貸床面積約1,383坪(4,573㎡)のミッドサイズオフィスビルです。構造面やセキュリティ面での安心・安全の追求や環境配慮に加え、上質さを感じさせるエントランス、落ち着いた共用部、開放的なオフィス空間など、中規模でありながら大規模オフィス並みと言えるビジネス環境を実現しています。照明設計では、建築意匠に調和させながら各スペースで必要照度を確保できるよう器具選択と配置を計画。ビルの顔となるエントランスは活気

を感じられるように設計され、吹き抜け部および右側タッチダウンスペースの天井には5000KのLEDダウンライトを配置。左側の7,700mm光壁は上下に集光タイプのLEDベースライトを内蔵し、光が均一に照らされるように内蔵ボードを傾けるなど工夫。空間全体で300ルクスの照度を確保しています。オフィス空間では、働きやすい照明環境を創出するため、5000Kのシステム天井用器具グリッドタイプを採用して500ルクスの照度を確保。昼光を利用したあかりセンサーによる制御システム(MESL-SIII)の導入もあり、省エネにも配慮された照明環境となっています。

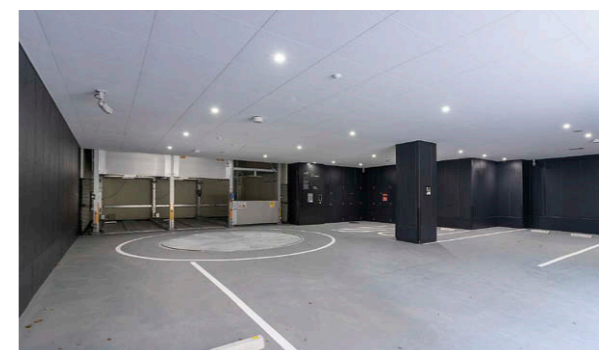
システム天井用器具グリッドタイプ④



3～7階テナントオフィスの照明 各階ともに最大利用で約204坪(674㎡)の開放的な整形無柱空間に計64台の600グリッド2灯用システム天井用器具④を採用



3～7階エレベーターホールおよび廊下の照明 共用部ではインテリアデザインに寄り添うよう落ち着いた雰囲気LEDダウンライト⑤およびLEDユニバーサルダウンライト⑥が演出



1階駐車場の照明 軒下用のLEDダウンライト⑦を22台配置



照明制御システム MESLにより施設全体の照明を一括管理

| 主な搭載器具一覧 | | | | |
|----------|--|--------------------------------|-----|--------------|
| 設置場所 | 器具名(品種名) | 形名 | 台数 | 備考 |
| 屋内 | ① LEDベースライトTENQOOシリーズ ハイパワー器具 直付形W70集光タイプ | LEET-40701T-LS9+LEEM-41203N-PS | 16 | 定格消費電力：68.6W |
| | ② LEDユニット交換形ダウンライト 一般形 黒色反射板 φ100 広角タイプ 高効率タイプ2500シリーズ | LEKD253023NK-LD9 | 18 | 定格消費電力：17.1W |
| | ③ LEDユニット交換形ダウンライト 一般形 黒色反射板 φ100 広角タイプ 高効率タイプ1500シリーズ | LEKD153023NK-LD9 | 8 | 定格消費電力：11.1W |
| | ④ システム天井用器具 グリッドタイプ(薄形シリーズ) Standard 600グリッド2灯用 グレア抑制LEDバータイプ 中光束タイプ | LERC-62623N-LD9 | 436 | 定格消費電力：46.0W |
| | ⑤ LEDユニット交換形ダウンライト 一般形 白色反射板 φ100 広角タイプ 高効率タイプ2000シリーズ | LEKD203023L-LS9 | 101 | 定格消費電力：14.0W |
| | ⑥ LEDスポットライト ユニバーサルダウンライト LEDユニットフラット形 高気密SB形 φ100 | LEDD85034(W) | 28 | 定格消費電力：5.8W |
| | ⑦ LEDユニット交換形ダウンライト 軒下用 φ100 広角タイプ 高効率タイプ2500シリーズ | LEKD253923N-LS9 | 39 | 定格消費電力：17.1W |
| 屋外 | ⑧ 屋外用スポットライト LED電球スポットライト | LEDS88900(K) | 7 | 定格消費電力：7.3W |

大阪府では、2026年10月末に竣工100周年を迎える登録有形文化財「大阪府庁舎本館」について、親しまれる庁舎として活用するため、東面(大阪城側)のライトアップを開始。鮮やかな色彩と質の高い白色を表現可能なフルカラーLED照明器具を採用し、歴史的な建築デザインを華やかに演出しています。

大阪府庁舎本館は1926年(大正15年)竣工。現役で使用される都道府県本庁舎として最も古く、登録有形文化財に指定されています。当時の官庁建築に多かった勾配屋根ではなく水平の陸屋根を採用。花崗岩と白色擬石タイルによる明るい外観や窓廻りの直線、左右対称の構成に、簡潔で合理的な表現が見られ、日本におけるモダニズム建築の先駆けとなりました。



【物件概要】
所在地：大阪市中央区大手前2丁目1-22
延床面積：24,829.70㎡
構造・規模：RC造、一部SRC造・地上6階、地下1階建
設計：大阪府
施工：電気株式会社岡田電気
演出プログラム作成：東芝ライテック株式会社
屋外照明設備完工：2026年3月



ライトアップ常時点灯(白色) フルカラーLED照明器具①が下方から上方へ大きな「面」を照射しスポットライトタイプの②が細部を照射

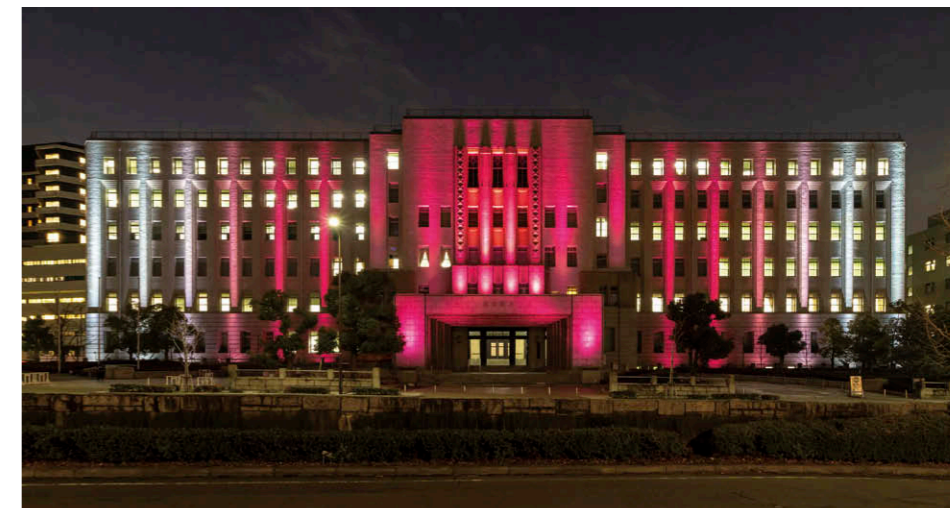
フルカラーLED照明器具により、動きのある光のプログラム、季節に合わせたライトアップを実現。

大阪府庁舎本館のライトアップは、日没から22:00までの白色の通常点灯に加えて、1時間に1回、毎時00分から「季節の色」のプログラムを実施。毎時1回のプログラムは、通常点灯の日に限り実施され、冒頭1分30秒ほどに動きを加えた光の演出があり、大阪城公園・天満橋周辺のイベントや季節などをイメージした12色が、年間を通じて季節感を表現する内容となっています。また、大阪光のまちづくり2030構想を踏まえ、「光の暦」の「特定日」に基づくテーマ性のある点灯や、府の施策啓発を目的としたカラーライトアップも行われる予定です。

こうした多彩な光の演出を実現するため、照明器具には混色の精度が高く演出力に優れたフルカラーLED照明器具を採用。下方から上方へ「面」を照射するアッパーライトには高出力なLED投光器タイプを使用し、また正面玄関や柱などの細部を余すところなく照射するためスポットライトタイプの器具も併用しています。器具の配置は、古典的で均整のとれた3層構成の建築様式に合わせて「基部・中間部・頂部」を意識した3段階の高さに設置し、「面」に対する照射角度を綿密に設計することで、ムラなく美しいライトアップを実現しています。



フルカラーLED照明器具
(左) ① ReachElite High Punch IntelliHue 100 Powercore gen3
(右) ② ColorBurst IntelliHue Powercore gen3



ライトアップ毎時点灯 季節の色(2月：紅梅)



カラープログラム例 特別点灯(ひなまつり)



カラープログラム例 特別点灯(万博カラー)

| 主な掲載器具一覧 | | | | |
|----------|--------------------------------------|---|----|------------|
| 設置場所 | 器具名(品種名) | 形名 | 台数 | 備考 |
| 屋外 | フルカラーLED照明器具 (カラーキネティクス・ジャパンブランド) | ① ReachElite High Punch IntelliHue 100 Powercore gen3 | 12 | 消費電力:100W |
| | | ② ColorBurst IntelliHue Powercore gen3 | 25 | 消費電力:31.3W |

東芝配線器具

ハーネス用OAタップ

ハーネス用OAタップに
新たにブラック色を追加！

オフィスのフリーアクセスフロア配線に適したハーネス用OAタップ。

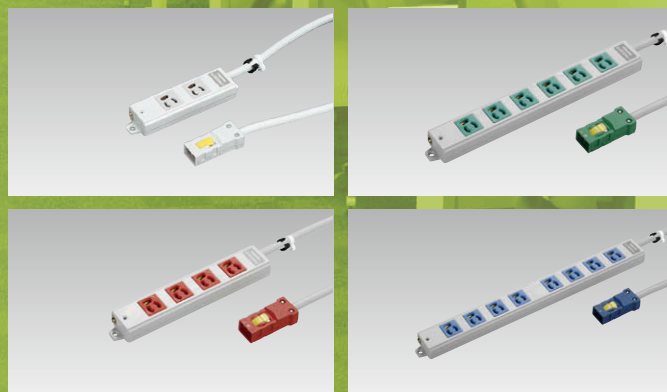
OAタップ電源取り出し位置の変更／撤去が容易に行えレイアウト変更にも柔軟に対応できます。



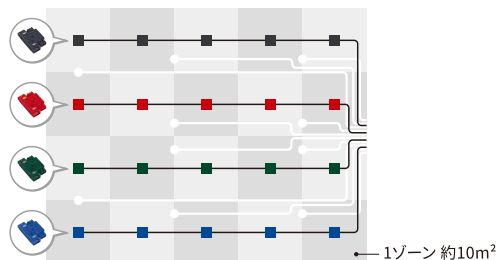
カラーは **5** タイプ

ライトグレー レッド グリーン ブルー **ブラック** NEW

当社ハーネスプラグ及びジョイントボックスは
(一社)日本配線システム工業会「アクセスフロア内用OAコネクタ」(JWD-T19)に準拠しています。

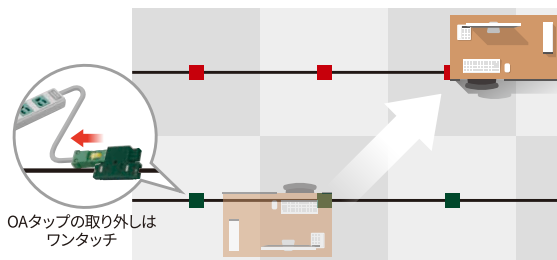


オフィスの配線状況をカラーで確認



OAタップを含めた支線全体を系統ごとに色分け。分配状況や電源容量の偏りを視覚的に確認でき、レイアウト変更時の最適配線もサポートできます。

レイアウト移動にも柔軟に対応



あらかじめハーネス用ジョイントボックスを設置しておくことで、オフィスのレイアウト移動にともなうOAタップの移設／増設が簡単になります。

Lighting Scene

ライティングシーン

本誌紹介の照明施設に関するお問い合わせ

北海道地区 TEL 011-624-1150
東北地区 TEL 022-264-7281
信越地区 TEL 025-255-5112

首都圏地区 / 関東地区 TEL 044-331-7601
中部地区 TEL 050-3191-3160
北陸地区 TEL 050-3191-2737
関西地区 TEL 06-6130-2300

中国地区 TEL 082-212-1213
四国地区 TEL 0898-34-5010
九州地区 TEL 050-3191-7160
沖縄地区 TEL 050-3191-3177

編集発行 東芝ライテック株式会社

〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34 <https://www.tlt.co.jp/>

No.31 (通巻 314) 2026年4月発行

C-4673 0426 12t D